

きょうめいひ  
橋名碑  
じょう  
浄  
しょう  
正  
ばし  
橋

(所在地) 福島二丁目一上天神南 交差点南西角



曾根崎川に架かっていた橋の碑。  
曾根崎川は別名「しじみ川」と呼ばれ、しじみが取れたとも。又度々の改修で川幅が縮んだので「ちぢみ川」がなまったともいわれる。

【碑文】

(正面) 浄正橋址

(裏面) 大正十五年建国祭 福島史談会

曾根崎川は河村瑞賢によって河川改修が行われ、堂島川の水晶橋—大江橋間より北へ分岐し、北新地本道通り堂島上通りを兩岸に西流、関西電力病院の北を通り堂島大橋—船津橋間で再び堂島川に合流していた。

上流より十の橋があり浄正橋は下流より三つ目、明治四十二年(一九〇九)北の大火(天満焼け)があり、そのがれきで上流が埋め立てられ、大正十三年(一九二四)には下流側も埋め立てられた。

